平成３０年度
市長のまちづくり
ふれあいトーク

【熊無地区】

日時　平成30年8月7日（火）
　　午後７時～
場所　論田公民館

平成３０年度
市政概要について

「氷見元気プロジェクト」の着実な推進

Ⅰ　住みたい街～いのちとくらしを守る～

がんセンターの整備や、健康寿命の延伸などを目的としたポイント制度導入の検討などの**「福祉や地域医療の充実」**、緊急浸水対策計画の策定などの**「防災・減災対策」**を重点的に推進します。

Ⅱ　働きたい街～働く場所の創出で元気な氷見市へ～

地域商品券の発行などの**「地域内消費の拡大」**や、世界農業遺産認定に向けた取組みなどの**「地域特性を生かした産業の振興」**や、名城大学農学部との連携強化などの**「産学官の連携による新産業づくり」**への取組みを重点的に推進します。

Ⅲ　育てたい街～ストップ・ザ・少子化～

「ストップ・ザ・少子化」のスローガンのもと、引き続き子育て支援や学校教育の充実に重点をおいた**人口減少対策**を重点的に推進します。

３つの氷見元気プロジェクトへの対応

Ⅰ　住みたい街～いのちとくらしを守る～

１）高齢者・障がい者にやさしい街づくり
２）若者の定住やＩＪＵターンの促進
３）災害に強い街づくり
４）安全・安心な街づくり

（主な事業）

【新規】金沢医科大学氷見市民病院におけるがんセンター整備	5218万円
【新規】緊急浸水対策計画の策定	2147万円
【新規】消防出張所整備計画の推進	886万円

Ⅱ　働きたい街～働く場所の創出で元気な氷見市へ～

１）企業誘致と創業支援の推進
２）地場産業の育成
３）大学・研究関係施設の誘致

（主な事業）

【新規】4つのインターチェンジ周辺の利活用の検討	531万円
【新規】地域内消費の拡大にむけた地域商品券の発行支援	778万円
【新規】世界農業遺産認定にむけた取組みの推進	560万円
【新規】名城大学農学部との連携強化	400万円
【継続】大浦第2工業団地造成事業（氷見市土地開発公社）	7億5000万円

Ⅲ　育てたい街～ストップ・ザ・少子化～

１）子育てしやすい環境づくり
２）学校教育の充実
３）安心でゆとりのある環境づくり

（主な事業）

【新規】出生祝い制度の創設	2075万円
【新規】子育て世代包括支援センターの開設	577万円
【拡充】外国語教育の推進	3993万円
【継続】小・中学校におけるICT教育の推進	6690万円

1　住みたい街　～いのちとくらしを守る～ ①

新規　**金沢医科大学氷見市民病院がんセンター整備事業費　5,218万円**

1. 事業の趣旨（現状と課題）

氷見市のがんによる死亡率は、全国と比べ高い水準にあります。今後も高齢化によるがんの罹患数や死亡数の増加が見込まれ、また、働き盛り世代の早世を防ぐためにも、がんの早期発見に有効なPET－CTや、がん治療に効果のあるリニアック（放射線治療器）を備えた「がんセンター」を整備します。

2. 平成30年度事業の内容

がんの早期発見に有効なPET－CTや、がん治療に効果のあるリニアック（放射線治療器）を備えた「がんセンター」を整備するため、基本設計及び実施設計等に着手します。

3. 求める効果

がんの早期発見、早期治療の実現

1　住みたい街　～いのちとくらしを守る～ ②

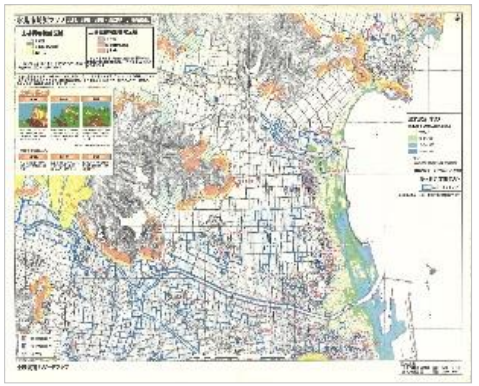
新規　**緊急浸水対策事業費**　　**2,147万円**

1. 事業の趣旨（現状と課題）

平成29年7月の豪雨を受け、明らかとなった浸水対策の課題に対応するため、浸水した地区の具体的な浸水対策が必要になっています。また、県が新たに浸水想定区域図を作成することに伴い、避難場所や防災情報を記載した浸水・土砂災害ハザードマップを作成し、市民の減災意識の高揚を図る必要があります。

2. 平成30年度事業の内容

緊急浸水対策計画策定調査により、現状把握、課題の整理、対策の検討を行います。さらに、昨年度実施した概略設計に基づき、南部地区浸水対策神代排水路の実施設計を行うとともに、市内6河川の浸水ハザードマップ及び土砂災害ハザードマップを作成します。



3. 求める効果

浸水被害の早期軽減
住民の減災意識の高揚

1　住みたい街　～いのちとくらしを守る～ ③

新規　**消防出張所整備事業費**　**886万円**

1. 事業の趣旨（現状と課題）

高齢化社会の到来や能越自動車道の開通などにより、本市の火災や救急出動件数が増加傾向にあり、さらに、集中豪雨や地震、津波等の自然災害に対する対応に加え、テロ対策などの特殊災害に対する備えなど、消防・救急業務が多様化、複雑化しており、消防・救急救助体制の強化が求められています。

2. 平成30年度事業の内容

隣接する高岡市との広域消防の体制整備について協議するとともに、本市の救急出動件数の3分の1を占める市南部地区において消防出張所を整備するため、建設予定地の地質調査等を行います。

3. 求める効果

市南部地区への消防・救急救助出動における現場到着時間の短縮による被害の軽減及び救命率の向上

1　住みたい街　～いのちとくらしを守る～ ④

新規　**持続可能な地域づくり支援事業費**　**845万円**

1. 事業の趣旨（現状と課題）

人口減少が進み、集落維持や存続が危ぶまれている中、地域にある様々な課題に対処し持続可能な地域づくりを行っていくためには、住民主体の取り組みが欠かせない状況となっています。

そこで、住民の自主性・自立性を活かし、地域の課題解決に向けた地域づくりを行う主体的な組織として地域づくり協議会の設立と活動の促進が必要とされています。

2. 平成30年度事業の内容

地域づくり協議会の設立に向けての取り組みから地域づくり協議会が取り組む地域づくり計画の策定及び組織運営など、持続可能な地域づくりに向けて、進度に応じた財政的支援を行います。

（1）地域づくり協議会設立支援事業　10万円
（2）地域づくり計画策定事業　40万円
（3）持続可能な地域づくり事業
　①独立公民館がない地域　1,676千円（人件費相当＋運営費相当）
　②独立公民館がある地域　500千円（運営費相当）

仏生寺地域づくり協議会
防災マップづくり

3. 求める効果

市内21地域における地域づくり協議会の設立とその活動の促進

１　住みたい街　～いのちとくらしを守る～　⑤

拡充　**市単土地改良事業費補助金**　　**382万円（H29　180万円）**

1. 事業の趣旨（現状と課題）

農業は、本市の重要な産業の一つでありますが、営農意欲を持ちながらも、施設の改修や修繕等に伴う負担に対応できず、それが営農意欲の減退につながっている傾向があります。

2. 平成30年度事業の内容

地区が実施する土地改良事業に対する補助金の補助率及び上限を引き上げます。

	補助率	地元負担	補助上限
現行	30%	70%	10万円
引上後	40%	60%	40万円

用排水路の整備

3. 求める効果

地元施工の土地改良事業への支援を行うことによる農業経営の継続性の確立

1　住みたい街　～いのちとくらしを守る～ ⑥

拡充　地域活力施設等整備支援事業費 1,477万円（H29 1,000万円）

1. 事業の趣旨（現状と課題）

住みよい地域づくりをきめ細やかに推進するため、自治会が自主的かつ計画的に取り組む社会資本施設等の整備に要する経費に対し、補助します。

2. 平成30年度事業の内容

補助対象の整備は次の事業であり、事業費の1/2（上限50万円）を補助します。

・道路、河川、水路、公園、広場、交通安全施設、観光施設及び土地改良施設等の公共的な施設の整備（新設、改良及び修繕等）や被害防止対策（追加：道路沿いの樹木の伐採や鳥獣害からため池を守るもの等）であること。

・市もしくは自治会が管理する施設であること。

・自治会が策定する地域内の社会資本整備計画（3年間以内）に位置づけられている整備であること。

3. 求める効果

地域の課題に対して、自主的かつ主体的に取り組む「地域力」が向上し、豊かで住みよい個性あるまちづくりを実現するとともに、地域の持続性を確保します。

拡充　おらっちゃ創生支援事業費　717万円（H29 1,609万円）

1. 事業の趣旨（現状と課題）

地方創生の実現に向けて、豊かで住みよい個性あるふるさとづくりを推進するため、市民一人ひとりや自治会、団体等がそれぞれの立場で主体的に考え、自ら実行する地域づくりが必要とされています。

2. 平成30年度事業の内容

現在のおらっちゃ創生支援事業をソフトとハードに分け、ハード事業を地域活力施設等整備支援事業に統合し、おらっちゃ創生支援事業はソフト事業とします。ソフト事業については、将来に渡り収益が見込めるもの（価値提供型）は段階的に補助率を下げ、収益が見込めないもの（課題解決型）については補助率を一定とします。

区分	補助率	補助基準額	補助限度額
価値提供型	1年目10/10　2年目2/3　3年目1/2	10万円以上	30万円
課題解決型	10/10　最長3年	1万円以上	15万円

3. 求める効果

地方創生が、自分ごと、みんなごと、そして世の中ごととして広がり、市民や団体が氷見市や地域のために取り組み、それが個々に未来に対して貢献する好循環の仕組みを確立します。

市民参加による勉強会

２　働きたい街　～働く場所の創出で元気な氷見市へ～　①

新規　**インターチェンジ周辺利活用検討事業費**　**531万円**

1. 事業の趣旨（現状と課題）

能越自動車道の4つのインターチェンジが市内に整備され、この利便性などを効果的に活用し、今後の氷見市の成長の基礎をつくることが求められています。

2. 平成30年度事業の内容

4つのインターチェンジ周辺の現況特性や産業動向の調査を行い、その調査結果を踏まえ、関係機関の意見などを集約してインターチェンジ周辺の土地利用の方向性をとりまとめ、都市計画マスタープランの検討のプロセスに入れて方針を決定します。

3. 求める効果

能越自動車道の利便性を活かした産業づくりや人口増対策を推進します。

２　働きたい街　～働く場所の創出で元気な氷見市へ～　②

新規　**地域内経済循環促進事業費**　**778万円**

１．事業の趣旨（現状と課題）

氷見商工会議所が実施している消費喚起事業「買活！ひみ６億円プロジェクト」で実施したアンケート結果では、市内での消費意識が向上しています。しかし、依然として、市外での支出（消費）金額が多い状況です。市内の中小企業の振興を図るためには、域内経済循環率を高めることが必要です。

２．平成30年度事業の内容

市内での消費を拡大させ市内経済循環率を高めるために、氷見商工会議所が取り組む地域商品券「ひみキトキト商品券」事業の経費の一部を助成します。

ひみキトキト商品券（イメージ）

３．求める効果

地域商品券利用に域内消費の促進により、域内経済循環率を高めます。

２　働きたい街　～働く場所の創出で元気な氷見市へ～　③

新規　**世界農業遺産認定推進事業費**　**560万円**

1. 事業の趣旨（現状と課題）

本市には、約400年の歴史がある「越中式定置網」をはじめとする伝統的な農林水産業や、それにより育まれてきた食文化、伝統文化など先人から受け継がれてきた誇るべき地域資源が多く存在しています。そのため、これらの地域資源を社会環境などの変化に対応して次世代に継承していくことが必要となっています。

2. 平成30年度事業の内容

氷見農業遺産推進協議会を設立して、世界農業遺産への認定申請に係る承認及び日本農業遺産への認定申請を6月20日に行いました。

今後は、一次審査の結果により実施される現地調査等に対して理解が得られるように説明を尽くすとともに、市全体の気運を高めていきます。

氷見沖の定置網

3. 求める効果

次世代に継承すべき地域資源の保全や活用が図られ、また、地域に住んでいる人々が地域に愛着と誇りを持って暮らすことができる環境が整備されます。それらの活用を図り、農林水産物のブランド化や観光の振興等により地域経済の活性化に寄与します。

２　働きたい街　～働く場所の創出で元気な氷見市へ～　④

新規　**大学連携推進事業費**　**400万円**

1．事業の趣旨（現状と課題）

社会環境の変化が早く、それに伴う地域課題が複雑化・高度化しているなか、地域特性があり、早期に対応が求められている課題については、専門性などを有している大学などとの連携・協力により、高度な取り組みが必要となっています。

2．平成30年度事業の内容

平成29年11月に協定を締結した名城大学農学部と氷見高等学校との共同研究や助言による先進的な授業を行うとともに、産業の振興や食などのブランドの確立に向けて、氷見市・名城大学農学部連携協議会（仮称）を設立し、産学官の連携を推進します。

3．求める効果

地方創生のモデルとなるような取り組みに発展させ、地域課題を解決します。

３　育てたい街　～ストップ・ザ・少子化～　①

新規　**出生祝い事業費**　**2,075万円**

1. 事業の趣旨（現状と課題）

次世代を担う子どもの誕生を祝福し、健やかな成長を願うとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減することにより、合計特殊出生率の増を図る必要があります。

2. 平成30年度事業の内容

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、新たに出生祝い制度を創設し、出生祝い（地域商品券）を贈ります。

第1子：5万円　　第2子：10万円　　第3子以降：20万円

3. 求める効果

本市における合計特殊出生率の増
基準値：1．37（H23～H27）
目標値：1．90（H33）

３　育てたい街　～ストップ・ザ・少子化～　②

新規　**子育て世代包括支援センター運営事業費**　**577万円**

1. 事業の趣旨（現状と課題）

妊娠、出産、育児に不安を感じる妊産婦が増加しています。核家族化が進む中、親を頼れず、地域との関係も薄れ、周囲からの子育て支援を期待できなくなっている状況であります。

このため、妊産婦の不安感や孤立感を軽減し、安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりが求められています。

2. 平成30年度事業の内容

子育て世代包括支援センターを開設し、妊産婦や乳幼児の実情を把握するとともに、妊娠、出産、育児に関する相談に応じ、セルフプラン・支援プランの作成や関係機関との連絡調整を行います。産前・産後サポート事業や産後ケア事業を実施し、妊産婦や乳幼児の健康の保持増進に関する包括的な支援を行います。

3. 求める効果

安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくり

３　育てたい街　～ストップ・ザ・少子化～　③

拡充　**外国語教育推進事業費**　　**3,993万円（H29　2,649万円）**

１．事業の趣旨（現状と課題）

小学校の外国語活動、外国語科の授業の実施にあたり、中学校との連携やＡＬＴ（外国語指導助手）の活用が一層求められるとともに、小学校教員の英語の指導力向上を図る研修が必要になります。また、ふるさと氷見について、英語で積極的に自分の考えを発信することができるようになることが望まれます。

２．平成30年度事業の内容

小学校外国語活動、外国語科の授業におけるＡＬＴや中学校英語教員とのチームティーチングを推進します。また、全ての小学校教員が参加する研修を実施するとともに、ふるさと教材英語版を作成し、授業での活用の促進を図ります。

３．求める効果

小中学校教員の外国語教育への意識の高揚と指導力の向上
ふるさとを英語で発信したり、ふるさとについて互いの考えを交換したりすることができる力の育成

３　育てたい街　～ストップ・ザ・少子化～　④

継続　**小・中学校ICT環境整備事業費　6,690万円（H29　4,804万円）**

１．事業の趣旨（現状と課題）

情報化や国際化等、急速に変化する社会では、基礎的な知識や技術を習得し、それを活用して自ら考え、様々な問題に積極的に対応する力を身につける必要があります。
このため、計画的にICT機器を整備し、ICT教育の充実を図ることが課題となっています。

２．平成30年度事業の内容

ICT教育の推進として、昨年、普通教室全教室に整備された電子黒板（58台）や各校1クラス分の人数に整備されたタブレットPC（462台）を活用した学習を行います。

３．求める効果

確かな学力を身につけた児童生徒の育成
発表する力、考える力の向上

平成３０年度
熊無地区の事業概要について

工事（業務）箇所①

実施年度	工事（業務）名	工事（業務）場所	契約（予定）日	完成（予定）日	契約金額又は現計予算額（円）
H30	市道熊無一の瀬線道路改良工事	熊無	H30.5.23	H30.10.31	20,304,000
H30	国災29年第22号市道論田菅池線道路災害復旧工事	論田	H29.11.21	H30.7.13	2,775,600
H30	市道熊無中田線外1線路肩補修工事	熊無・論田	H29.11.30	H30.5.14	2,322,000
H30	市道論田瀬戸線側溝補修工事	論田	H30.9月中旬	H30.11月末	2,500,000
H30	市道大門線側溝補修工事	熊無	H30.9月中旬	H30.11月末	2,000,000
H30	市道論田大谷線法面崩壊修繕	論田	H30.6.5	H30.7.17	1,291,680
H30	市道日名田熊無線舗装修繕	熊無	H30.5.25	H30.6.11	928,800
H30	市道谷屋大野線反射鏡修繕	谷屋	H30.7.2	H30.7.31	89,640
H30	中原作次の池廃止工事	論田	H30.7.23	H30.10.31	1,809,000
H30	天狗林健康広場トイレ外壁修繕	熊無	H30.8月上旬	H30.8月下旬	140,000
H30	お休み処くまなし駐車場舗装工事	熊無	H30.6.19	H30.8.31	1,350,000

工事（業務）箇所②

実施年度	工事（業務）名	工事（業務）場所	事業概要	予算額（円）	備考
H30	【県】池谷内川砂防改良工事	谷屋	堰堤工　V=190m3	18,000,000	H30完了
H30	【県】堂原川砂防改良工事	論田	堰堤補修工　1式	15,000,000	H30完了
H30	【県】論田・熊無地区地すべり対策工事	論田・熊無	地下水排除工　L=370m	23,000,000	全体計画 A=231ha

工事（業務）以外の事業①

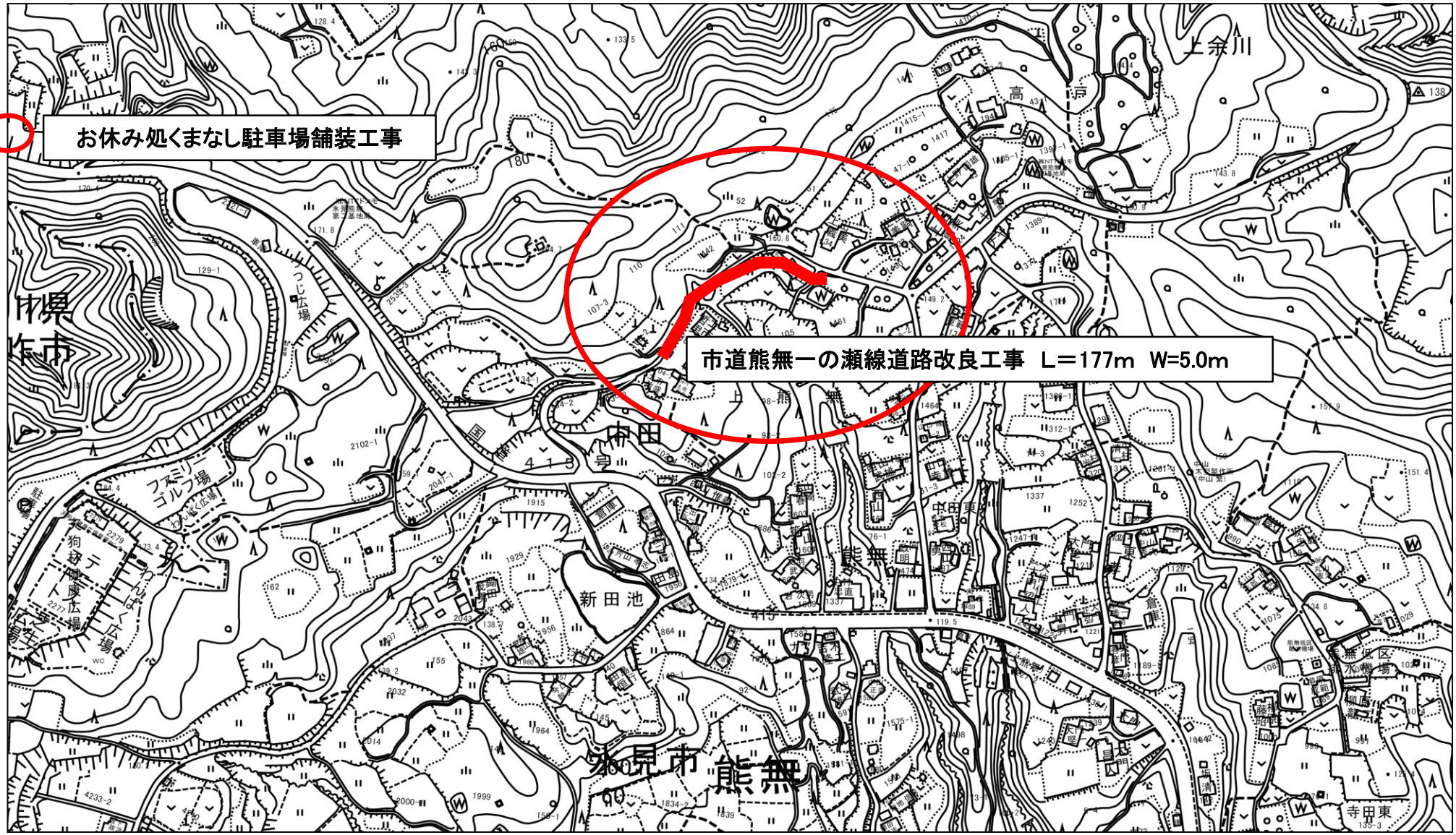
実施年度	工事（業務）名	具体的な内容及び実施箇所	金額（円）	担当課	備考
H30	地域活力施設整備支援事業補助金	ため池（2箇所）保護のための金網フェンスの設置（谷屋）	500,000	地域振興課	
H30	NPOバス運営推進事業	NPO過疎地バス路線支援事業費補助金（車両購入費補助金）	35,566,000	地域振興課	久目、速川、明和、上庄地区
H30	市単土地改良事業費補助金	簡易舗装、水路（谷屋）	256,000	ふるさと整備課	
H30	県営中山間地域防災減災事業費負担金	防災重点ため池の整備（新保大池）	2,000,000	ふるさと整備課	
H30	道路整備地域支援事業	道路側溝の整備（谷屋）	500,000	道路課	
H30	天狗林健康広場管理業務委託	天狗林健康広場の管理業務を熊無地区に委託	6,589,600	都市計画課	
H30	多面的機能支払交付金	農地保全活動（草刈り、泥上げ等）、農村環境保全活動（花壇の造成等）へ支援 論田（2,852,383円）　新保（2,531,334円）	5,383,717	農林畜産課	
H30	中山間地域等直接支払	農業生産活動維持のための江ざらい、農業施設の整備（農道、水路等の補修） 論田（6,790,283円）　熊無（1,971,941円）	8,762,224	農林畜産課	
H30	小型動力ポンプ購入費	小型動力ポンプの更新（熊無）	820,800	消防総務課	

工事（業務）以外の事業②

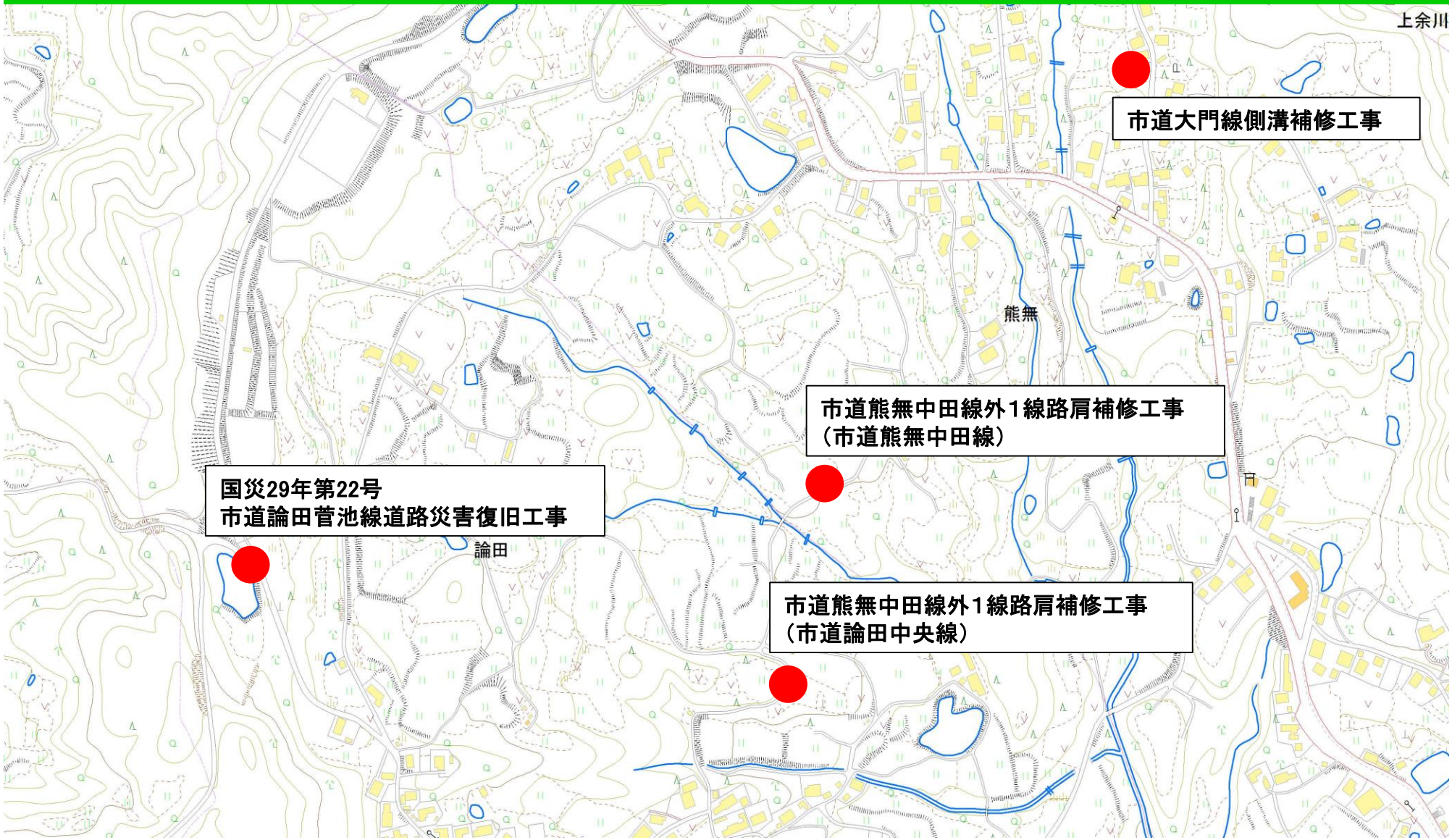
実施年度	工事（業務）名	具体的な内容及び実施箇所	金額（円）	担当課	備考
H30	安心生活創造事業	地域づくり協議会の組織化	900,000	福祉介護課	
H30	健康ウォーキング	地区住民を対象としたウォーキング教室の開催	5,000	健康課	11月10日
H30	幼児食らくらくメニュー講座	乳幼児とその保護者を対象に教室の開催	7,000	健康課	11月5日
H30	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にしたレクリエーション教室の開催	4,200	健康課	新保 10月27日 熊無 12月5日
H30	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者の食生活改善に関する教室の開催	3,000	健康課	6月15日
H30	高齢者料理教室	高齢者を対象としたバランスの取れた食生活に関する教室の開催	10,000	健康課	9月か10月
H30	住民健診PR活動（旗立て）	住民健診の受診勧奨のため、地区内にPRの旗を設置	2,000	健康課	7月～9月

熊無地区の工事（業務）
箇所の位置図

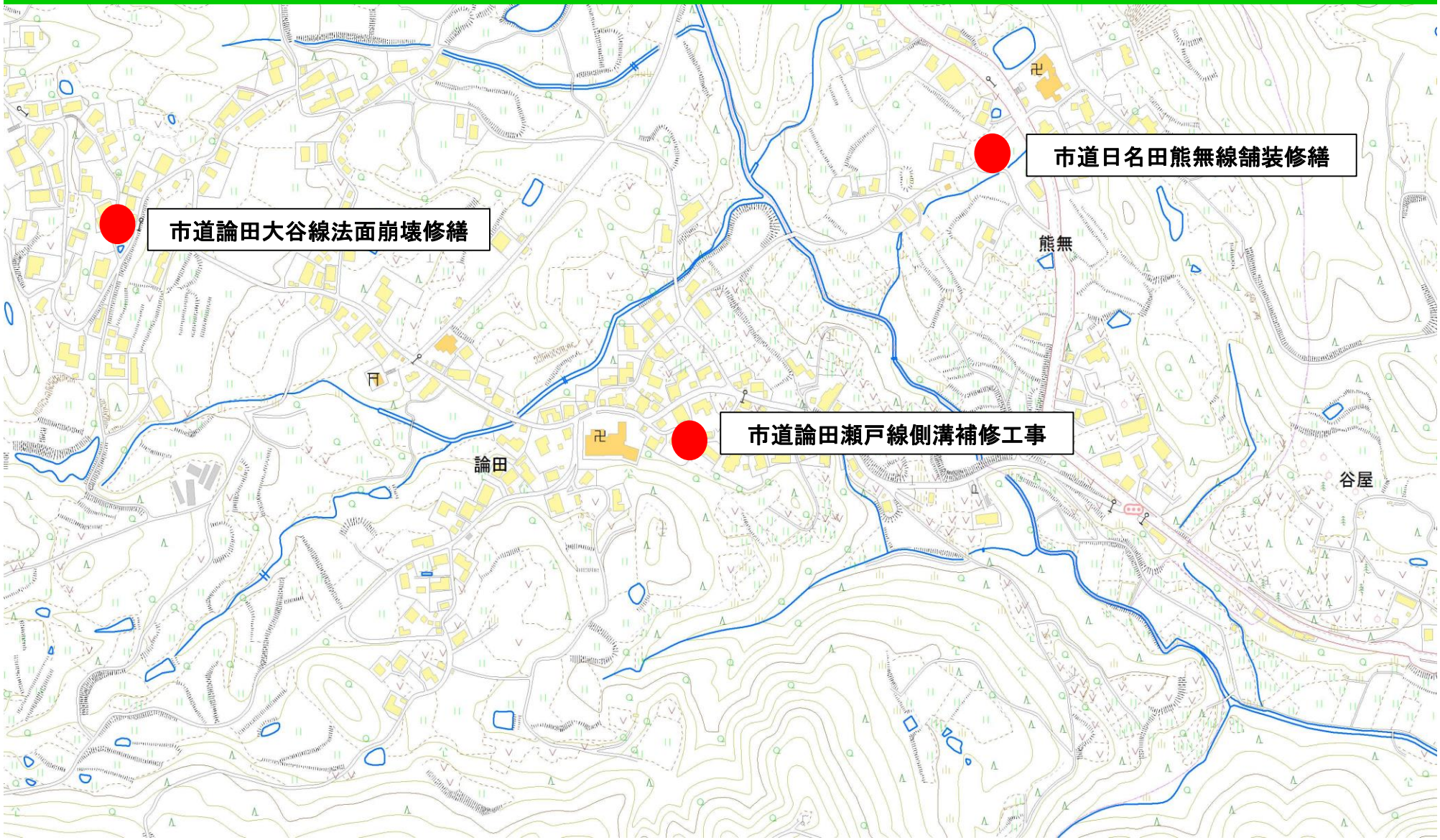
工事（業務）箇所の位置図　①



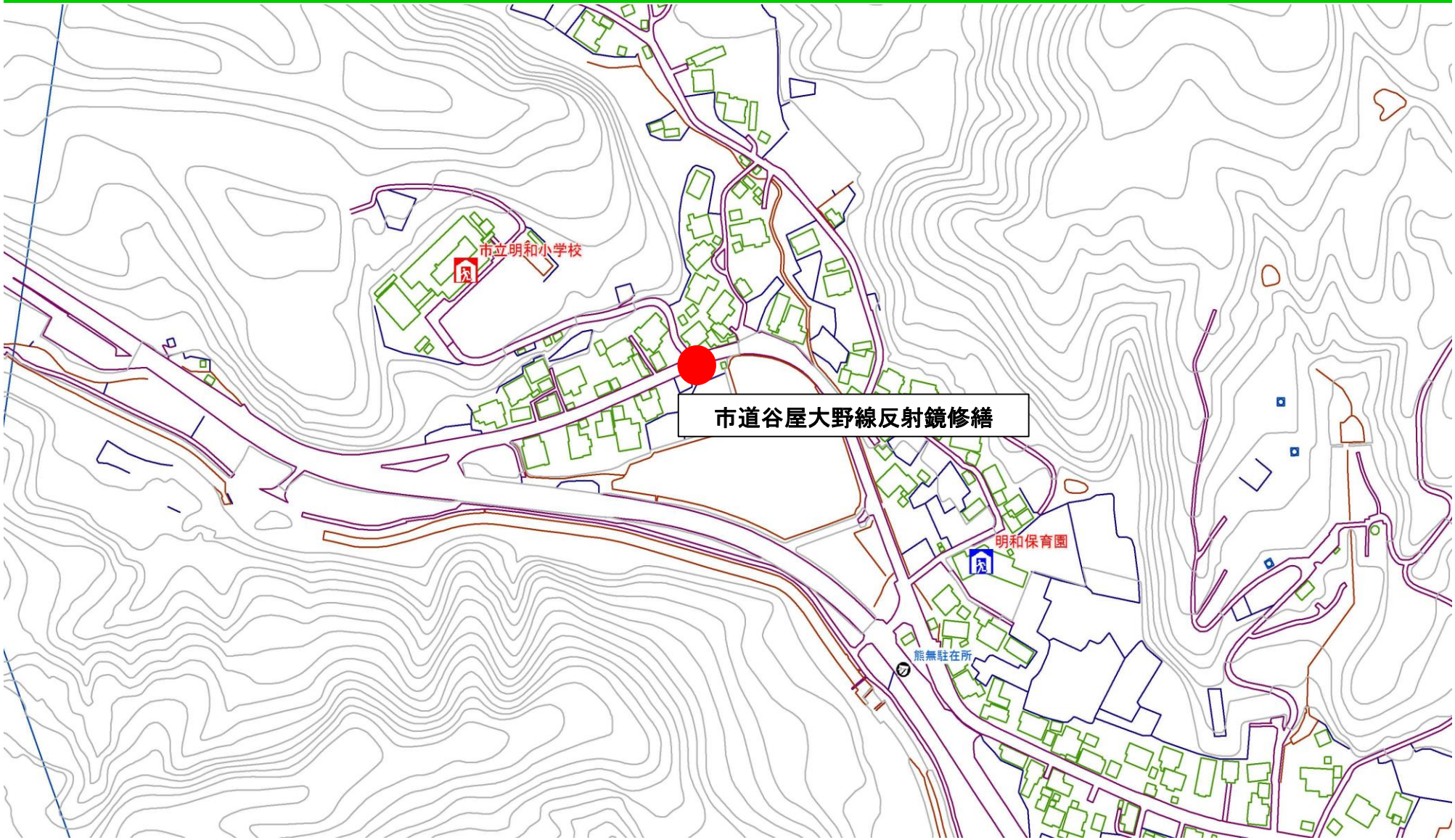
工事（業務）箇所の位置図　②



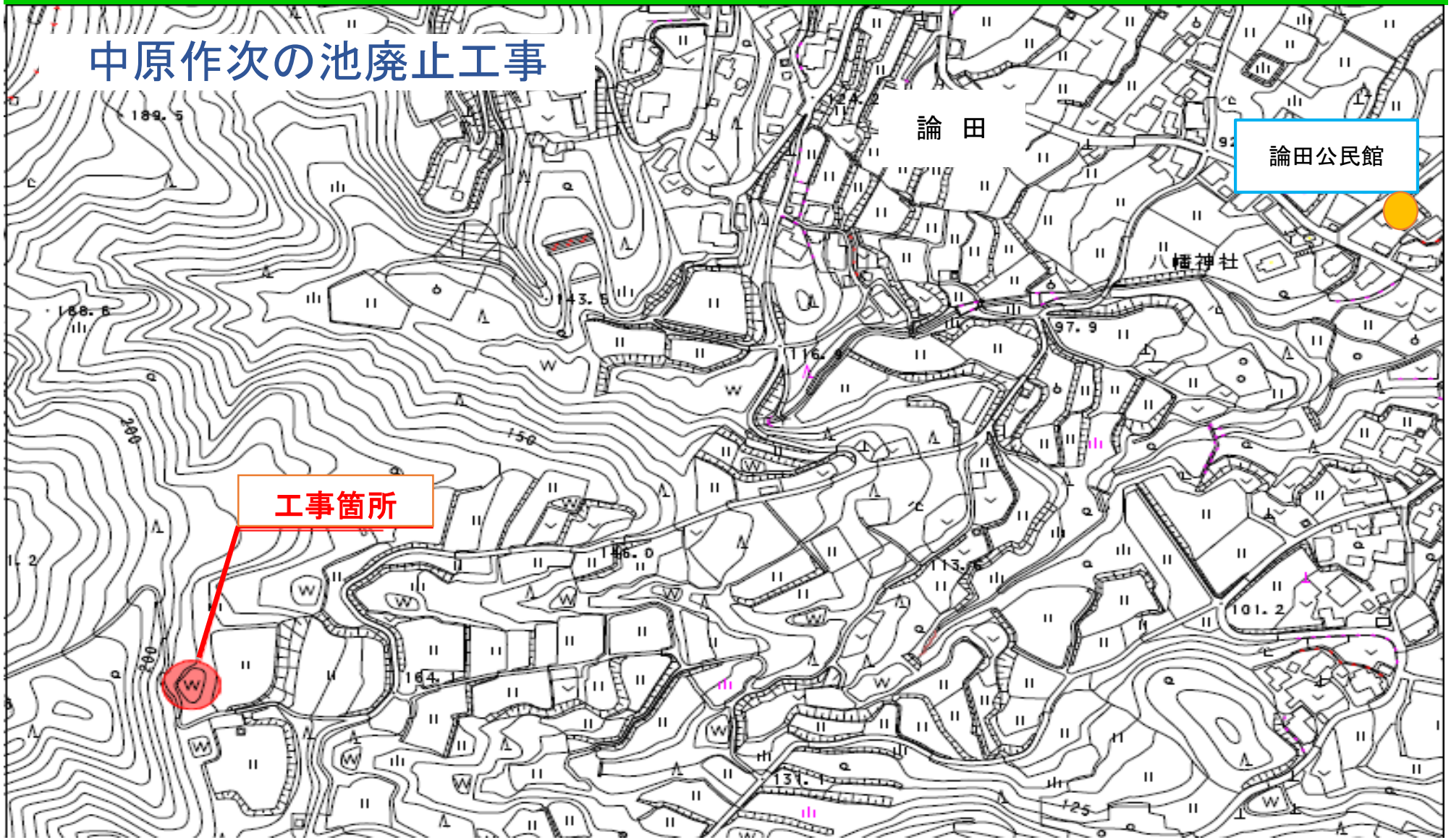
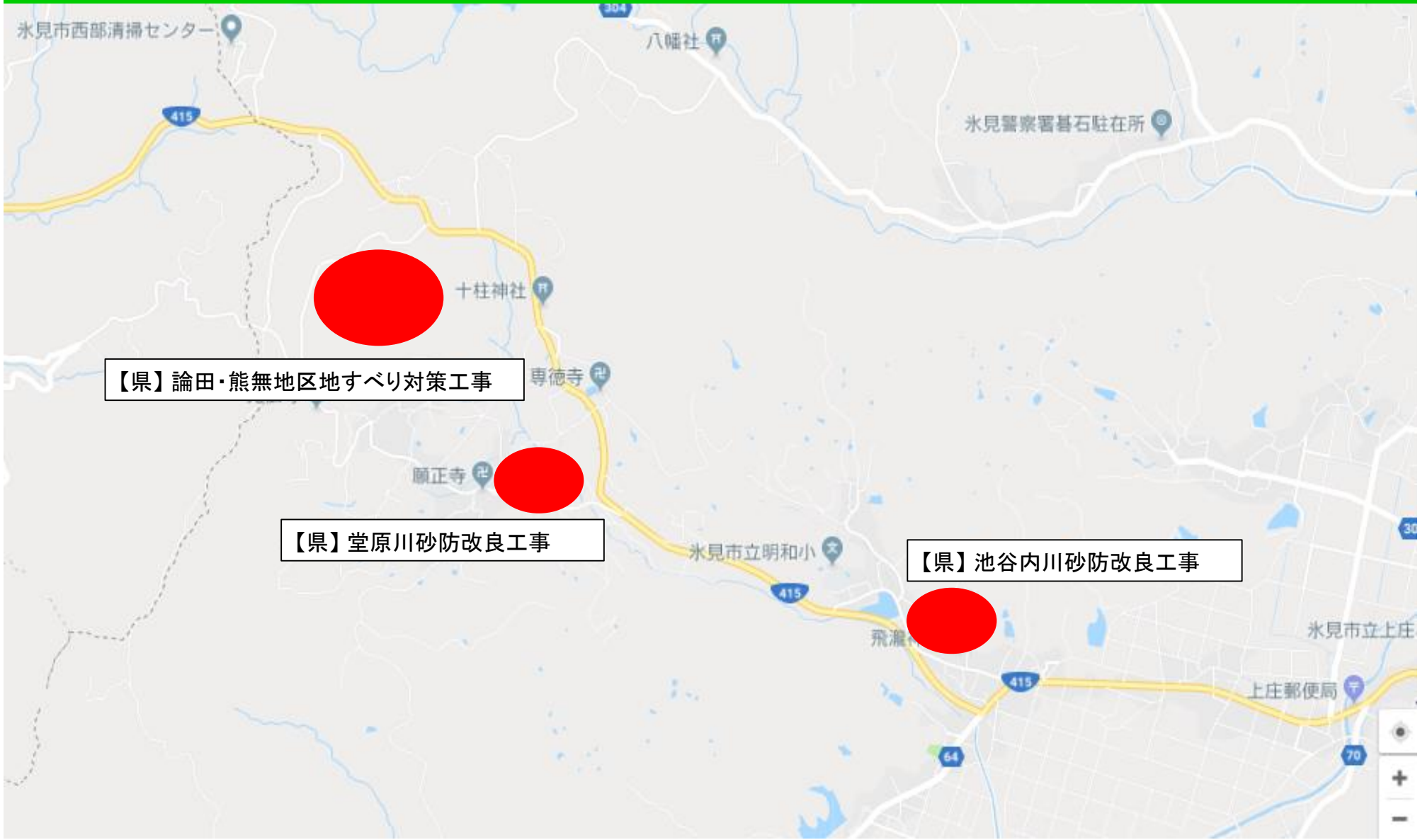
工事（業務）箇所の位置図　③



工事（業務）箇所の位置図　④



工事（業務）箇所の位置図　⑤



工事（業務）箇所の位置図　⑥